



平成30年11月5日

各 位

上場会社名 共同印刷株式会社
 代表者 代表取締役社長 藤森 康彰
 (コード番号 7914)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員 渡邊 秀典
 (TEL 03-3817-2101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,000	700	1,100	400	45.57
今回修正予想(B)	46,000	100	500	70	7.97
増減額(B-A)	△1,000	△600	△600	△330	
増減率(%)	△2.1	△85.7	△54.5	△82.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	44,266	204	763	667	76.03

平成31年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	100,000	2,600	3,400	1,900	216.46
今回修正予想(B)	97,000	1,500	2,300	1,200	136.71
増減額(B-A)	△3,000	△1,100	△1,100	△700	
増減率(%)	△3.0	△42.3	△32.4	△36.8	
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	95,076	1,726	2,644	2,037	232.10

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、情報系事業のうち出版印刷・一般商業印刷において紙媒体の需要減少が想定以上に進み、電子書籍やデジタルプロモーション等の受注拡大、ビジネスメディア分野におけるデータプリント・BPO・カードでの新規案件獲得等で挽回を図りましたが、全体では売上高・利益ともに当初の予想を大幅に下回る見込みとなりました。生活・産業資材系事業においては、チューブや軟包装の受注増に支えられて売上高は順調に推移したものの、4月に竣工した守谷工場の軟包装専用棟立ち上げ等に伴う生産効率悪化によるコスト増加の影響が大きく、利益については当初の予想を下回る見込みとなりました。

今後、営業提案力の強化による受注拡大や収益管理の徹底に努め、業績の早期回復に向けグループ一丸となって各種施策のスピードアップを図ってまいります。第3四半期以降の受注見通しや生産体制再整備への取り組み等を踏まえ、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期(四半期)純利益」を算定しております。

(注)

上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上